

北海道浮魚ニュース

平成10(1998)年度16号 (通巻 No.37)

1998年9月16日

北海道立中央水産試験場	Tel: 0135-23-8707	Fax: 0135-23-8709
釧路水産試験場	Tel: 0154-23-6221	Fax: 0154-23-6225
函館水産試験場	Tel: 0138-57-5998	Fax: 0138-57-5991
稚内水産試験場	Tel: 0162-23-2126	Fax: 0162-23-2134
網走水産試験場	Tel: 0152-43-4591	Fax: 0152-43-4593

道東太平洋マサバ・マイワシ漁期中調査結果

北辰丸(釧路水産試験場調査船)によって行われたマサバ・マイワシ漁期中調査の結果をお知らせします。

調査期間: 1998年9月2日～9月10日

調査海域および調査点: 道東～日高沖太平洋(北緯40度30分～42度30分, 東経142度～145度)における8調査点(図1)

調査方法: 9種類の目合(22mm～82mm)の流し網を用いた漁獲試験

①漁獲試験を行った8調査点の表面水温は17.4～22.4℃で、前年(11.8～22.6℃)よりも最低水温が高く、平均水温も高めでした。

②漁獲試験の結果は図1のとおりです。

サバは、3調査点で1～22尾、合計31尾漁獲され、前年の435尾を下回りました。

マイワシは、3調査点で1～13尾、合計15尾漁獲され、前年の0尾を上回りました。

カタクチイワシは、7調査点で1～3,000尾、合計5,432尾漁獲され、前年の10尾を大きく上回りました。

サンマは、6調査点で1～49尾、合計113尾漁獲され、前年の690尾を下回りました。

スルメイカは、4調査点で2～5尾、合計14尾漁獲され、前年の547尾を下回りました。

アカイカは、全調査点で1～178尾、合計427尾漁獲され、前年の1,146尾を下回りました。

③流し網調査1回当たりの漁獲尾数(CPUE)の経年変化は図2のとおりです。

1994年以降では、今回のサバ、スルメイカ、アカイカのCPUEは最も低い値で、マイワシとサンマのCPUEは2番目に低い値でした。カタクチイワシのCPUEは1994～97年を大きく上回りました。

④採集されたサバの尾叉長は0～1歳魚と思われる15～29cmで、マイワシの体長は0～1歳魚と思われる11～18cm、カタクチイワシは12～13cmが主体でした。

◎なお、道東海域では9月4日以降まき網によって、カタクチイワシが4年ぶりに漁獲されています。

(文責: 釧路水試資源管理部)

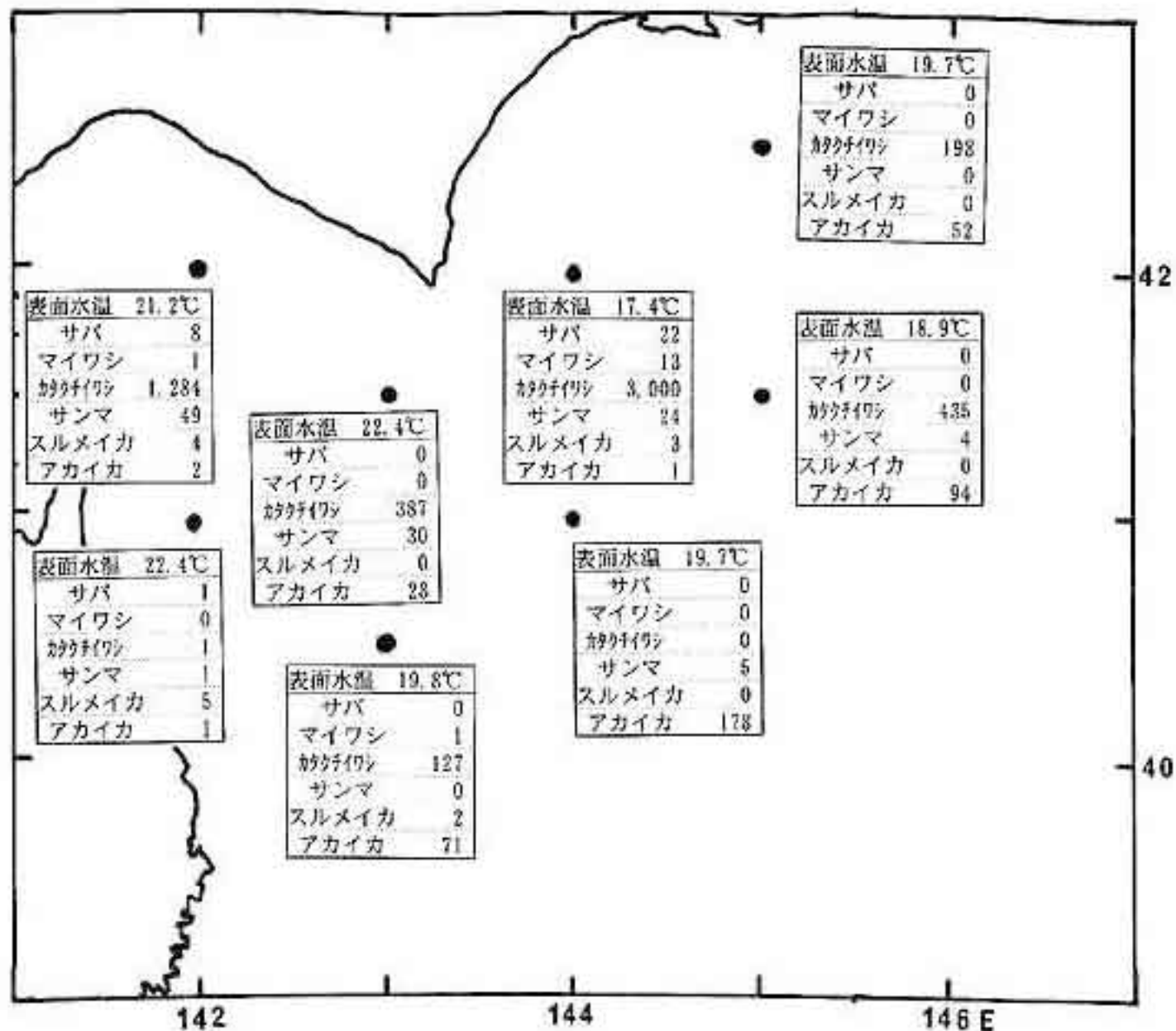


図1 漁獲試験調査点と表面水温および魚種別漁獲尾数

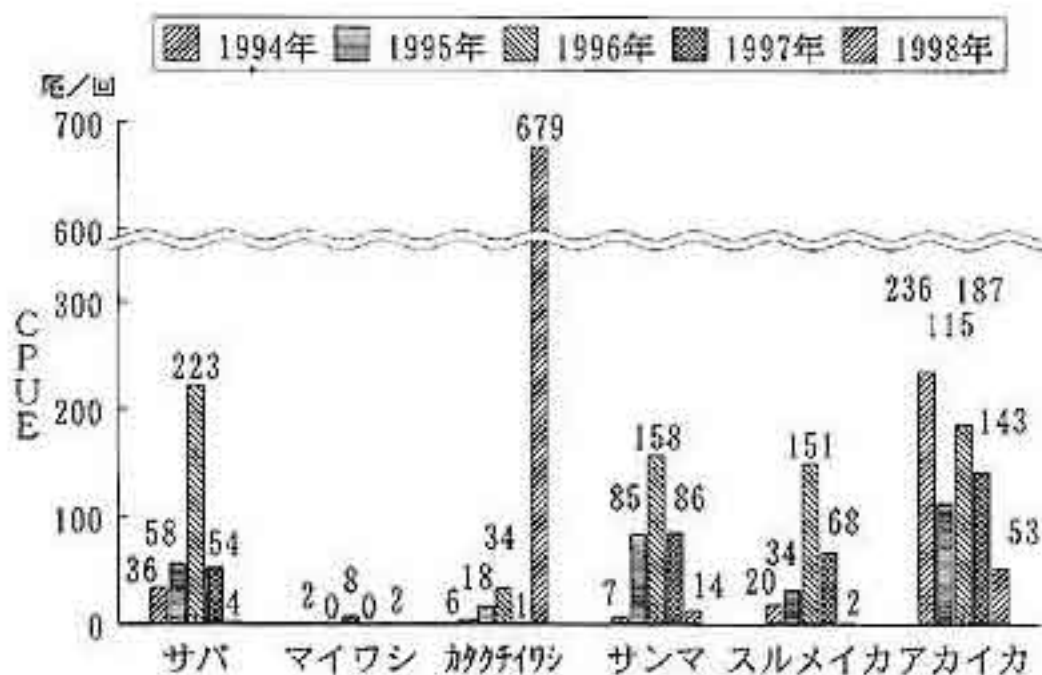


図2 漁期中調査における魚種別CPUEの経年変化